

人文科学研究所創立80周年記念シンポジウム

Institute for Study of
Humanities and Social Sciences
DOSHISHA UNIVERSITY

80th

2024
12/21 Sat 13:00 - 15:25

同志社大学今出川校地 良心館1階107教室

入場無料 | 申込不要

第1部 基調講演

テーマ

ともに考えるということ —知と集団をめぐる省察—

講演者

富山 一郎 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授

第2部 部門研究会の活動・成果紹介、パネルディスカッション

登壇者

吉田 亮 同志社大学社会学部教授(第4部門研究代表)

小林 文広 同志社大学文学部教授(第12部門研究代表)

富山 一郎 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授

司会

関口 寛 同志社大学人文科学研究所教授

本岡 拓哉 同志社大学人文科学研究所助教

・合理的配慮が必要な方は、11月29日(金)までに下記の連絡先までご連絡ください。
ご要望内容を検討のうえできる限りの対応をさせていただきます。

主催・お問い合わせ

同志社大学人文科学研究所 075-251-3940 ji-jimbn@mail.doshisha.ac.jp

<https://jinbun.doshisha.ac.jp/jinbun/>

ともに考えるということ
—知と集団をめぐる省察—

人文科学研究所HP



人文科学研究所創立80周年記念シンポジウム

ご挨拶

人文科学研究所(以下、人文研)は1944年に「同志社大学研究所」として発足し、2024年に創立80周年を迎えました。この間当研究所は、広く人文及び社会科学にわたって専門の学術の理論及び応用に関する総合的研究を行うことにより、文化の創造と発展に寄与して参りました。その主たる活動は、1) 学内外の研究者による学際的な共同研究の推進、2) 人文・社会科学に関係する資料の収集・整理および公開、3) 機関誌ならびに研究叢書の出版等による研究成果の公表、の3つです。

人文研には、京都の歴史や、キリスト教に関するものなど、数多くの貴重な文献等が所蔵され、適切なかたちで研究者等の方々に公開するよう努めております。共同研究については、学部・研究科の垣根を越えて複数の教員が共同して3年計画の研究プロジェクトを企画し、学外の研究者も交えて研究に取り組んでおります。2025年度からは新たに、17の研究プロジェクトが始動する予定です。

人文社会科学をめぐる情勢には厳しいものもありますが、今後も学内外の研究者と連携しながら、人文研ならではの学際的な研究に取り組んで参ります。シンポジウム開催にあたり、多くの皆様からご意見やご助言をお聞かせいただければ幸いです。

同志社大学人文科学研究所長 伊藤 高史

Institute for Study of
Humanities and Social Sciences
DOSHISHA UNIVERSITY

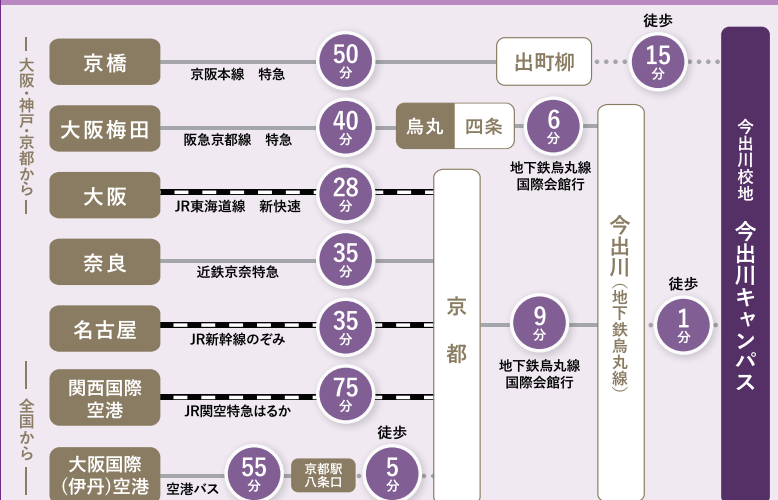
ともに考えるという
こと
知と集団をめぐる省察

講演者プロフィール

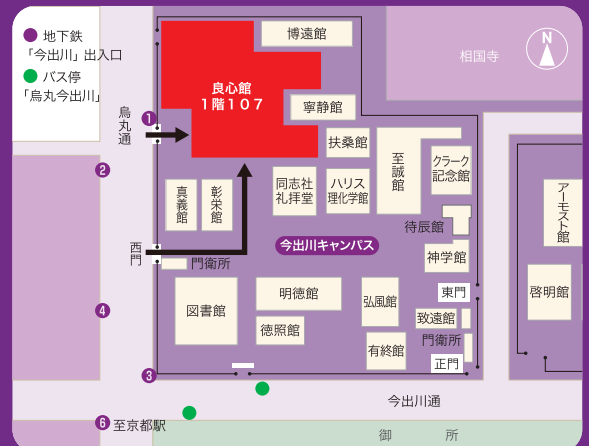
富山 一郎 同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授

沖縄近現代史研究。著書に、『近代日本社会と「沖縄人」』(日本経済評論社、1990年)、『戦場の記憶』(日本経済評論社、1995年)、増補版(2006年)、『暴力の予感』(岩波書店、2002年)、『流着の思想』(インパクト出版会、2013年)、『始まりの知』(法政大学出版局、2018年)がある。編著に、『記憶が語り始める』(東京大学出版会、2006年)、『ポスト・ユートピアの人類学』石塚道子、田沼幸子と共編(人文書院、2008年)、『現代沖縄の歴史経験』森宣雄と共編(青弓社、2010年)、『コンフリクトから問う』田沼幸子と共編(大阪大学出版会、2011年)、『あま世へ』森宣雄・戸邊秀明と共編(法政大学出版局、2017年)、『軍事的暴力を問う』鄭柚鎮と共編(青弓社、2018年)、などがある。最近考えていることは、思索という行為が集団を構成するなら、いかに思索し、いかなる集団を作り上げていくのかということが、学知においてもっと問われるべきことなのではないか、それが思想という問題なのではないか、ということです。

交通アクセス



京都市営地下鉄 烏丸線 今出川駅 1・3番出口 からすぐです。



会場へは公共交通機関をご利用ください

駐車場はありませんので、
自家用車でのご来場はご遠慮ください。